

対談



畑田重夫さん
国際政治学者

梅村・あけましておめでとう
ございます。講演で全国を飛
び回っておられると聞きました。
た。お元氣いっぱいですね。
今日は是非、国際政治学者と
しての立場から、今年のたた
かひの展望などを伺いたいと
思います。

畑田・おめでとうございます。
いつも「なくす会」のみなさ
んの会報「ノー消費税」、こ
うやって線を引っぱって読ん
でいるんですよ。

ただ、僕がここで強く思う
のは、こうした首相が
選ばれる背景として、
国民が選挙で自民党政
治を許している、日本
国民の民意が今、問わ
れなければならぬ時
に来ているということ
です。

アメリカ大統領選挙

アメリカで初の黒人大統領
誕生 合言葉はチェンジ

二代続けての首相の突然の政
権放り投げですね。二十一世
紀になって、森、小泉、安倍
福田、麻生と、五人も首相が
代わった。自民党政治のゆき
づまりをハッキリ見る出来事
でした。外国の友人が、一番
ビックリすることです。こん
なことは外国ではあり得ませ
んから。みんな二世、三世の
世襲。政治家ではなく政治屋
なんです。政策も政治哲学も
ない。

梅村・そうですね。今年は消
費税がはじまってちょうど二
〇年の年です。先生が指摘
される二〇一〇年は、消費税
をめぐっても、財界が、「二
〇一〇年、遅くとも二〇一一
年までに」と税率引き上げを
めざしている年です。麻生首

二〇一〇年という節目の年
の前夜のたたかい

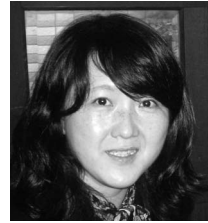
では、初の黒人大統領を誕生
させましたね。二大政党で限
界はあるだろうし、閣僚の人
選などを見ていると危険だと
思う点もあります。しかし、
長い間の苦難の人種差別と偏
見の壁を前向きに乗り越える
人民の力を示したこと自身は、
歴史の大きな前進です。合言
葉は「チェンジ」でしたね。
今年も、歴史の大きな節目
となる二〇一〇年という年の
前夜となるたたかいの年。日
本でも「チェンジ」は待った
なしです。

沖繩の県議選があります。
僕は「なくす会」が「消費
税憲法変えれば 戦争税」を
合言葉に運動をしていること
に注目し、軍事費、軍事予算
にも絶えず鋭い関心をはらう
べき平和運動団体の役員とし

相も、これに沿って「三年後
に消費税の増税、早ければ二
年後にも増税法案を国会に提
出する」としたのです。
「なくす会」も、「消費税増
税法案をつくらせない 出さ
せない」ために、今年たたか
かひの正念場と決意していま
すし、そのたたかひを支える
にふさわしい実力をつけるた
めに「会」を大きく広げる年
にしたいと思います。

畑田・二〇一〇年という年は、
ちようど諸悪の根源・六〇年
安保条約から五〇年という年
です。核不拡散条約（NPT）
再検討会議が行われます
し、国内では国民投票法のス
タート、参院選もあります。

新春



梅村早江子
全国の会事務局長

税金です。年間五兆円もの日本の軍事費も、消費税あつてこそです。さらに、アメリカに從属した経済運営、資本主義のルールを逸脱した財界・大企業の勝手放題を支えているのが消費税です。

世界金融危機 消費税減税に踏み出したイギリス

て、消費税をなくす全国の会や地方・地域の組織と連携し平和運動の量的・質的發展をめざすチャンスと話してきました。

梅村・何と心強いお話でしょう。「なくす会」は結成アピールで、消費税は「国民生活をおびやかしているだけでなく、軍事財源のため」であると、高々によびかけました。

日米安保を支える消費税

畑田・「なくす会」の存在意義、ここにあり」ですね。消費税は日米安保体制を支える

梅村・イギリスやEUでは、「もつともスピーディーで効果的」と消費税減税に踏み出してきているというのに、日本ではなぜ消費税の増税なのかと、今、宣伝で対話すると多くの人が「おかしい」と言います。

畑田・そもそも現在の世界金融危機というのは、アメリカが主導して、一九八〇年代からすすめた金融の規制緩和、金融の自由化、これが今日極端なところまできて、破たん

した結果です。すべてを証券化し、実体のないものが取引の対象とされ、膨大な投機マネーをつくった。

EUも一九八〇年のイギリスのサッチャーリズムに代表されるように、新自由主義がひろがりましたが、比較的早くから、アメリカ一國主義から抜け出す模索をしてきました。

日本が消費税の減税を行うどころか税率引き上げに固執するのは、日米安保体制の下で、アメリカ一國覇権主義から抜け出せないからです。

梅村・なるほど。日米軍事同盟を廃棄し、民主的な国づくりをすすめていくことと、消費税廃止は根っこでつながっている。安保五〇年の年に消費税増税が狙われているのは決して偶然ではないのですね。

畑田・そうですね。内需拡大が大事であり、「資本主義が崖っぷち」にきている中で、

世界の国々がその要因を真剣に考え、模索や努力をしているのに、日本は全く逆のことをしている。これを文字通り転換させないといけません。

日本でも国民のたたかいが自民党政治を追い詰める

日本でも国民の大きなたたかいが自民党政治を追い込んだのが〇八年だったと思います。

二〇一〇年を前に、〇九年は、総選挙という政治を大きく変えるチャンスが私たち国民にはあるではないですか。

「なくす会」は、消費税廃止をめざし、国会の力関係を变えようと活動していますね。選挙の年、会の役割を大いに發揮することを期待しています。

梅村・今日は世界的な視野で消費税を考え、展望がひられました。ありがとうございます。